

2014年10月7日開催 第592回番組審議会

■ 出席委員

櫻井美幸委員長、佐藤友美子副委員長、上田理恵子委員、神谷徹委員、小菅洋人委員、佐藤卓己委員、東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役、木田取締役
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長
虫明ラジオ局長、西村編成局長

◆ 報告事項

- ①ラジオ・テレビの10月改編の概要と特徴について、ラジオ局長と編成局長がそれぞれ報告した。
- ②「放送番組の種別の公表」制度に則って、平成26年度上期6か月分の番組種別ごとの放送時間を編成局長が報告した。合わせて、同期間のCM総量および10月以降の基本番組表についても報告した。

◆ 審議事項

「全国ネット番組」について意見交換した。

各委員の主な意見は次の通り。

<「あさチャン！」について>

- * すごくフレッシュなメンバーになって、拙い感じもするが、横並びの番組と比べると朝爽やかな感じ、若いアナウンサーたちというイメージがよい。
- * 出演者は全員好感が持てて爽やかなイメージが伝わってくるが、番組を見てから仕事に行くと、なぜか気持ちがしゃきつとしない。コーナー名もそうだし、つなぎ目というか、入り方がただだとして、しゃきつとしない。
- * 「情報まとめ24H」のコーナーは、項目が多い。引用している新聞が小さくて見えないし、拡大したらぼやけていて、高齢者だと見えない。新聞を使うからには見やすい工夫が要る。
- * みのもんたが嫌だ、嫌だと言いながら結局見ていたのが「朝ズバツ！」だった。「あさチャン！」は、印象もいいし、嫌じゃない。印象はいいが見ないのはなぜなのか考えたが、朝の時間帯とか、昼も、他局との比較で見ていると思う。
- * この時間にテレビを見ている人がどういう年齢層とか職業か、視聴者調査に裏付けられた形で編成されているのか疑問。若い人は芸能情報とかスポーツ関連はスマホとかインターネットで自由にアクセスできる時代で、テレビが伝えるべき内容は、報道を中心に。

<「いっぷく！」について>

* 8時にスタートして、まだ家にいる人がいるので、ニュースというのはわかるが、視聴者は、すでにニュースは知っていて、そのニュースをどう噛み砕いたのか、どうコメントするのかを聞きたい。

<「ひるおび！」について>

* ますます落ち着きがあって貫禄が出てきた。よその局に出ていない方をうまくつかまえてきて、ニュースに応じたコメントがあったり、努力されていて、相変わらず安心して見られる。

<バラエティー番組について>

* 「ホムカミ」もタイトルがかわって中身もかわっているが、やっぱりいまはやりの世界もの。「世界のすげえにツイテッタ〜」というタイトルで、「すげえ」を「びっくり」と言い換える、あるいは「ワンダー」と言い換える、それだけのことで結局同じことをここ数年やっている。

<「金スマスペシャル」について>

* 個人で救急病院をつくった上原先生の取材は、非常にすばらしい放送だった。現在の救急医療にはいろんな問題があるが、非常に丁寧に取材されていて、一般の人にとっても救急車の使い方など啓蒙にもなった。あらゆる人間に関係があり、万人向けで大変ためになった。

<「駆け込みドクター！スペシャル」について>

* 全体にがさついていて、タレントが賑やかで、医学とか健康というより、美容とか、どうやったらきれいになれるかという話題が多く、女性以外の視聴者にとってはあんまり関係ない。あまりネタにするほどの内容がなくて、散漫な感じだ。

<「チューボーですよ！」について>

* アシスタントが局アナからすみれさんにかわり、かなりイメージが変わった。前までは榎田アナウンサーが巨匠とやり合うという、非常に緊張感があり笑いがありというのがよかったが、巨匠がすみれさんに気をつけている感じがあって、おもしろみがなくなってしまったのが残念。

<「おやじの背中」について>

* 日曜劇場の枠で全10話。日本を代表する脚本家10人がそれぞれ別々の脚本を書いて、出演者もそうそうたるメンバーで、すごくオールスター的な感じで、全部違うドラマが、共通テーマで、いろんな趣向で楽しめた。

<「サンデーモーニング」について>

* 関口さんが指名する人がコメントをして、声を荒立てるような論争がない。女性リポーターが手づくりの模型を使って問題を説明したり、コメンテーターが黒板を使って説明をしている。全体的にアナログ感を出して、非常に落ち着いた感じがいい。

* コメンテーターの高齢化が気になる。若い学者とか、特に女性コメンテーターを登用しようとしているが、なかなか定着しない。

<「報道全般」について>

* 朝日新聞の誤報問題が取り上げられているが、放送での間違いも、テロップも含めてかなりたくさんある。それをまとめて放送するのは、放送に流れている情報のある種の保守点検のために、そしてメディアリテラシー教育にもなるので、そうした番組を、早朝ではなく若い人が見られる時間帯でやればいい。

* 台風なのに東京のネタばかりで、地域のネタがないと全く新鮮さがない。こっちは晴れているのに、ずっと台風の話で、枠を少しもらって地域でやることはできないのか、少し工夫の余地があるんじゃないかと思う。

<L字災害情報について>

* 台風のL字帯での災害放送のあり方を、疑問に思った。データチャンネルのある時代、そういうチャンネルに誘導するテロップを一行固定しておけば基本的に済むことで、煩わしい地名とか云々が流れてくるのは、番組を見る人にとっても不愉快だし、基本的には中途半端に一行の情報が流れてきてもほとんど意味はない。そうした災害情報をどう伝えるべきか、ちゃんとした議論をしたほうがいい。

以上